



ソーシャルキャピタルあふれる
持続可能な付加価値創造都市を目指して

～コミュニティのあり方とレジリエンスの向上～

富山市長 森 雅志

富山市の概要

総面積 : 1,241.85km² (県庁所在都市では2番目の広さ)

人口 : 421,953人 (2010年国勢調査)

世帯数 : 159,151世帯 (2010年国勢調査)

三世帯世帯 11.5% (全国平均7.1%)

特徴 : 海拔0mの富山湾から標高2,986mの水晶岳までの
自然豊かな多様な地形



富山駅上空からみた市街地



< 地方都市の現状と課題 >

人口減少、超高齢化、厳しい財政運営、維持管理費等行政コストの増大 etc

これらに対応できる地方都市の1つの未来像を提示

1. 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積 など

2. 質の高い魅力的な市民生活づくり

地域コミュニティの活性化、歩いて暮らせるまちづくり、ソーシャルキャピタルの醸成 など

3. 地域特性を十分に活かした産業振興

地場産業である薬業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致 など



サスティナブル(持続可能)な都市を創出することにより、

「誰もが暮らしたい・活力あるまち」を実現

低い水準にある生活保護率

- ・富山市 4.14% (1,519世帯、1,733人 / H26.9月現在) **中核市で最低**
- ・富山県 3.27% (H26.9月現在) **全国で最低**
- ・全 国 17.00% (H26.8月分厚労省速報値)

低い要因は？



- ・真面目で勤労意欲の高い県民性
- ・しっかりした生活基盤
(貯蓄額、共稼ぎ率、持ち家率、可処分所得等の指標が高い)
- ・**地縁性が残っていること(三世代同居率が高い)**

などが考えられる。

高い水準にある老人クラブ加入率

順位	都道府県名	老人クラブ加入率 %
1	富山	44.6
2	石川	29.3
3	岐阜	29.0
4	三重	26.9
5	滋賀	26.5
6	佐賀	25.6
7	岡山	24.9
8	和歌山	24.8
9	福井	24.4
10	山梨	23.1
参考	全国	15.9



(資料: 全国老人クラブHP、総務省「住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数(H25.3.31)」により作成)

コミュニティの拠点・連携 ~ 行政庁舎 ~

行政庁舎 から半径2km圏内には、市民の約**98.9%**が居住
概ね小学校区毎に地区センター（73箇所）を設置し、**市民のコミュニティ活動の拠点機能**を
果たすとともに、地域住民へのきめ細かなサービスを実施

【行政庁舎2km圏人口・割合】

	2km圏 人口(人)	割合 (%)	人口 (人)
富山市	415,644	98.9	420,441
都心・沿線居住推進地区	158,317	99.9	158,538
都心地区	21,568	100.0	21,568
沿線居住推進地区	136,749	99.8	136,970
都心・沿線居住推進地区以外	257,327	98.3	261,903

(平成25年6月30日時点の住民基本台帳情報より算出)

行政庁舎:

市役所 (1箇所)

総合行政センター (6箇所)

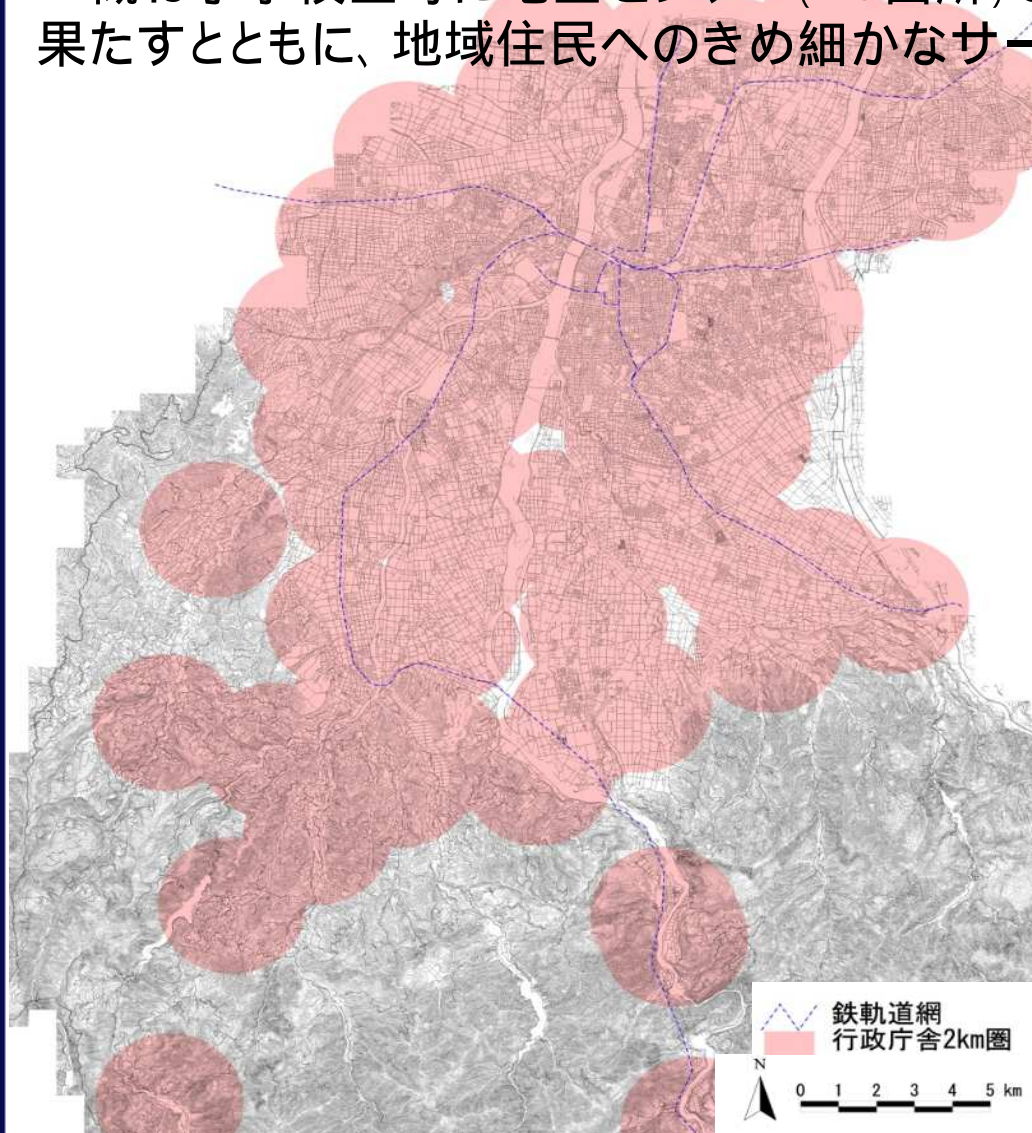
地区センター (73箇所) の計80箇所

地区センター1箇所あたり職員を4.0人配置

地区センター:

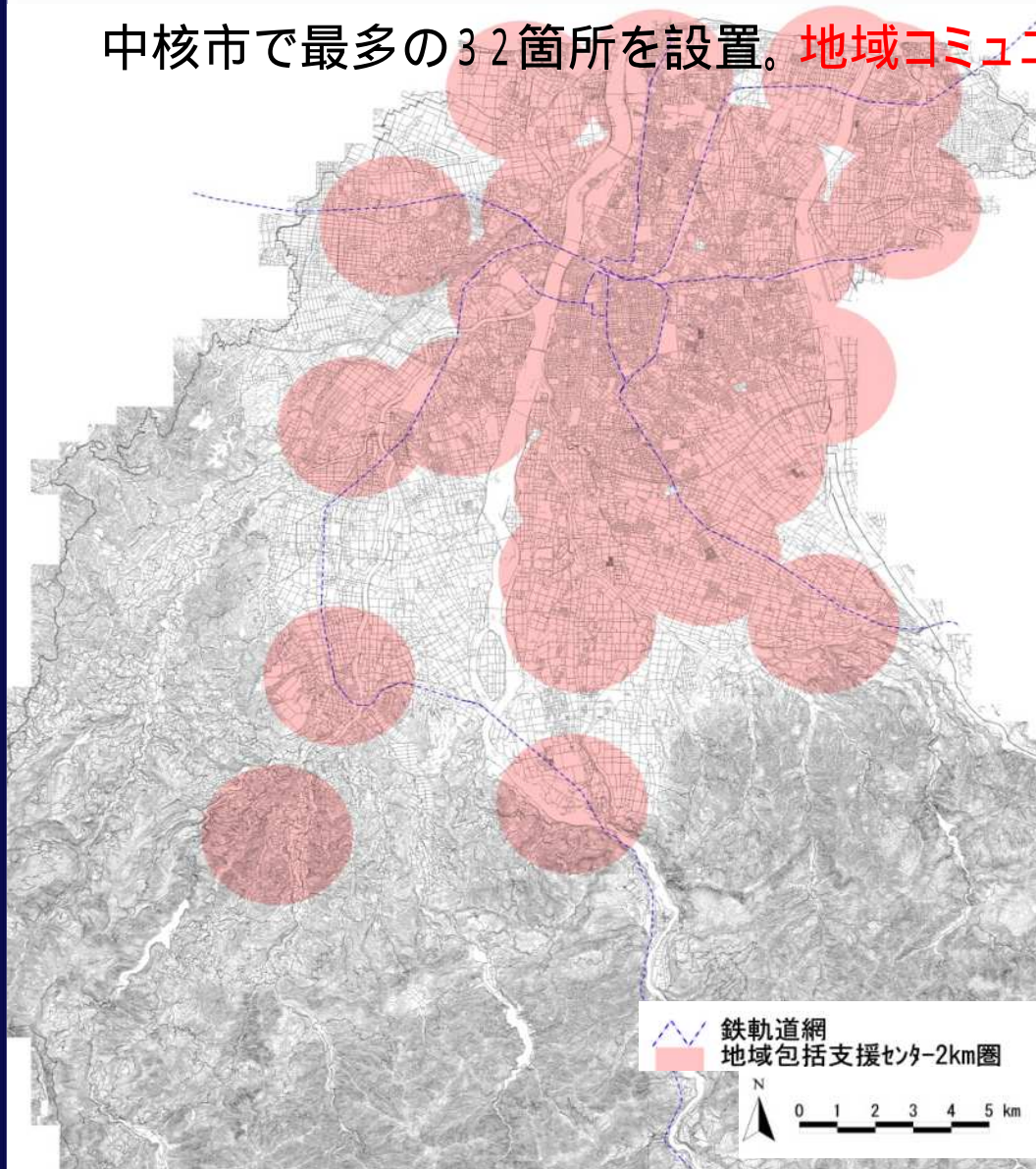
概ね小学校区毎に配置されており、職員が常駐する、市の
出先機関。住民登録、住民票や税証明等各種証明発行、
の行政サービスや、行政情報の提供等を行う。

また、公民館機能を有しており、地域コミュニティ活動の支
援を行う。



コミュニティの拠点・連携 ~ 地域包括支援センター ~

地域包括支援センターから半径2km圏内には、市民の約**87.2%**が居住
中核市で最多の32箇所を設置。**地域コミュニティと連携した介護要望事業を展開**



【地域包括支援センター2km圏人口・割合】

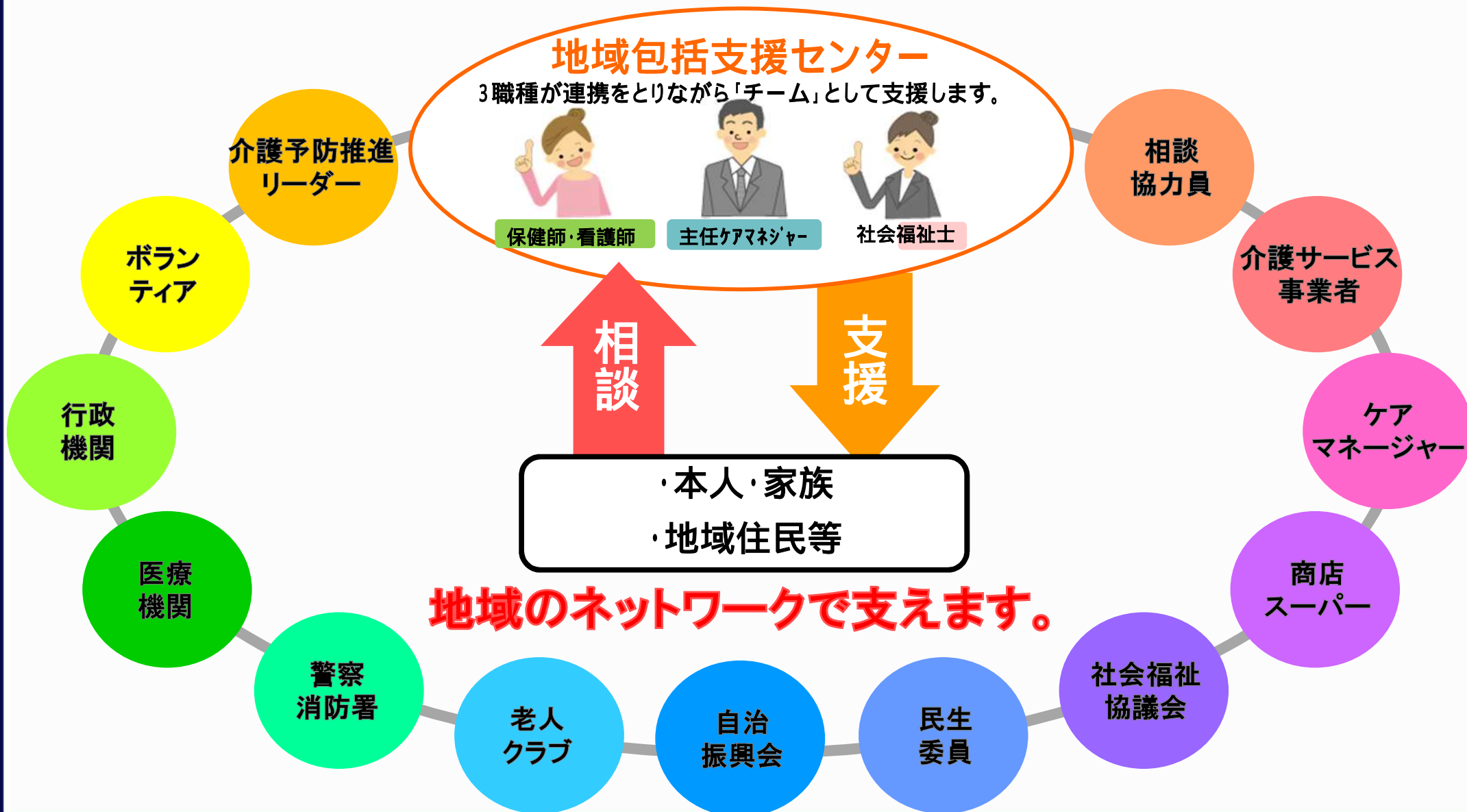
	2km圏 人口(人)	割合 (%)	人口 (人)
富山市	366,657	87.2	420,441
都心・沿線居住推進地区	156,186	98.5	158,538
都心地区	21,568	100.0	21,568
沿線居住推進地区	134,618	98.3	136,970
都心・沿線居住推進地区以外	210,471	80.4	261,903

(平成25年6月30日時点の住民基本台帳情報より算出)

地域包括支援センター：

介護保険法で設置が定められ、地域住民の保健・福祉・医療の向上を図るため、総合相談、虐待防止、介護予防ケアマネジメントなどを包括的に行う機関。センターには、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士が置かれ、専門性を生かして相互連携しながら業務にあたる。

地域のネットワークにより地域ケア体制を推進



地域のネットワークで支えます。

高齢者サロン設置事業

地域自らによる、高齢者同士が食事や喫茶、趣味活動等を通じて交流の輪を広げられるサロンの設置に対し富山市が支援。高齡者の閉じこもりの防止、生きがい創出、地域コミュニティの強化などが期待される。

< モデル事業実施例 >

熊野校下「若竹みんなの家」

オープン 平成26年4月2日(水)

実施主体

「若竹みんなの家」

活動例

喫茶、作品展示、ランチ会、健康や防犯に関する講座 等



岩瀬校下「岩瀬元気サロン“まっとなちゃん”」

オープン 平成26年6月7日(土)

実施主体

「岩瀬元気サロン運営委員会」

活動例

喫茶、囲碁、ランチ会、地域住民とボランティアの連携による観光客接待 等



ヘルシー & 交流タウンの形成

中心市街地にある角川介護予防センターを核として、高齢者等が、安全・安心・快適に生活できる歩行者ネットワークを形成し、高齢者の外出・交流機会の充実等を図る

〈歩行支援器具〉

高齢者が気軽に安全に利用できる歩行支援器具をまちなかに設置。



〈地域住民による 歩行支援器具の活用方法等の検討会を開催〉



孫とおでかけ支援事業

世代間交流を通じて**家族の絆を深める**とともに、高齢者の外出機会を促進するため、祖父母と孫(曾孫)が一緒に来園(来館)された場合に入園料(拝観料)を全額減免



期間

平成24年7月 ~

対象施設

ファミリーパーク、科学博物館、天文台、佐藤記念美術館、民俗民芸村、八尾おわら資料館、ジップライン・アドベンチャー立山、エコリンク等

(ゴンドラ利用料は利用者負担)

対象者

一緒に入園される祖父母と孫・曾孫(年齢及び居住地の制限なし)

実績(ファミリーパーク、科学博物館等の12施設利用者数)

H23: 616, 430人(事業開始前)

H25: 645, 855人(うち祖父母・孫50, 129人)

入園(館)者数が約4.8%増加

ふるさととやま美化大作戦

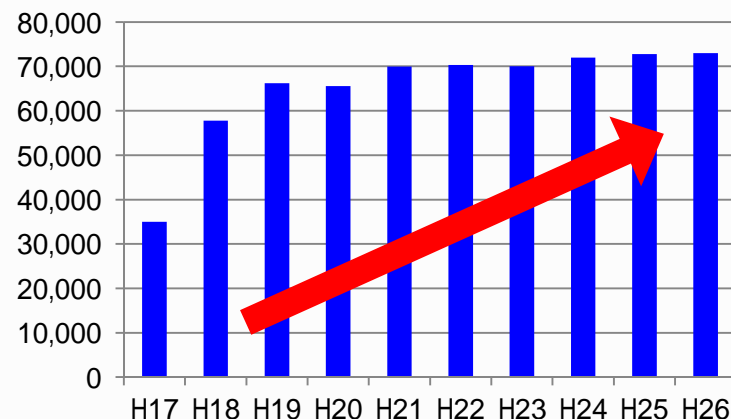
美しいまちとして全国に誇れるふるさと富山を目指すため、市民や企業が一体となって地域の美化清掃活動を行うことで、**環境美化意識の醸成や、地域のコミュニティづくりを推進**する

平成26年度ふるさと富山美化大作戦

- (1) 実施日時: 8月24日(日)
- (2) 会場数: 市内全域84ヶ所
- (3) 参加人数: 73,000人
- (4) ゴミの収集量: 可燃物25.02t
不燃物1.80t

過去の参加人数

平成17年	35,011人
平成18年	57,783人
平成19年	66,202人
平成20年	65,534人
平成21年	69,944人
平成22年	70,300人
平成23年	70,000人
平成24年	72,000人
平成25年	72,800人
平成26年	73,000人



街区公園コミュニティガーデン事業

中心市街地の街区公園において、新たにコミュニティガーデンを整備し、**高齢者の外出機会**
や生きがいを創出するとともに、地域コミュニティの再生を図る



< 整備箇所 >

芝園町二丁目公園
南新町公園
中野新町公園

< 供用開始 >

平成25年4月(3箇所)

< 面積 >

1箇所あたり 50m²



コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築

環境価値の創造

CO2排出削減

中心市街地活性化 循環 等

経済的価値の創造

行政コストの抑制 新産業の創設
農山村社会の再生 税収増加
地場産業の発展 雇用創出 等

社会的価値の創造

地域コミュニティの活性化
地域医療 介護 健康 安全安心 等

環境・社会・経済のイノベーションによる未来に開かれた都市へ

包括的なコミュニティ活動により、レジリエンスが向上するとともに、**持続型社会を実現**